



# くすい箱

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部

発行責任者 田村 潤一

編集担当者 岡部 紘子

細谷 潤

第19回目のテーマは、“花粉症の薬”についての紹介です。

## ● 花粉症とは…

花粉症とは、植物の花粉が原因となって起こるアレルギー性の疾患です。症状は主に目や鼻に現れ、くしゃみ、鼻水、鼻詰まり、目のかゆみ、目の充血などの諸症状を引き起こします。

花粉症の原因となる花粉には、(春)スギ、ヒノキ、(夏)カモガヤ、オオアワガエリ、(秋)ブタクサ、ヨモギなどが挙げられます。

## ● 花粉症のメカニズム

- 1、花粉が鼻に入る
- 2、肥満細胞と花粉が結合する
- 3、肥満細胞から化学伝達物質（ヒスタミンやロイコトリエン）が分泌される
- 4、化学伝達物質によりくしゃみや鼻水、鼻づまりを起こす



## ● 花粉症の治療

1. 予防法：花粉を除去・回避して花粉を体の内に入れないようにする。
2. 対症療法（薬物療法）：症状に応じて外用薬（点眼・点鼻薬など）や内服薬により症状を抑えたり、症状を起こし難くする治療法。
3. 根治療法（減感作療法）：花粉症の原因物質（スギ花粉など）に身体を慣れさせることにより、症状をなくす治療法。

その他、手術やレーザー治療などもあります。

## ● 花粉症対策

- ・花粉予報等花粉症情報を確認する
- ・外出時にはマスク、メガネを着用する
- ・風の強く乾燥している晴天日の午前中はできるだけ外出を控える
- ・外出から帰った際は衣服の花粉を取り除いてから室内へ入り、手洗い・うがい・洗顔をする
- ・窓を開けないようにする
- ・洗濯物や布団は外に干さない



## 花粉症の薬物療法

“当院採用のお薬についてご紹介します。”

### 内服薬

花粉症の症状を改善するお薬が抗アレルギー薬です。炎症を強く抑える作用のあるステロイドが配合されているお薬もあります。

抗アレルギー薬は続けて服用することで改善率が増します。アレルギーのお薬は個人差はありますが眠気や口渇などの副作用がありますので、飲んだ後車の運転は避けましょう。

#### 抗アレルギー薬

1日1回服用するお薬…アレジオン、ジルテック、エバステル

1日2回服用するお薬…ザジテン、アレグラ、タリオン、アレロック

#### ステロイド(副腎皮質ホルモン剤)+抗アレルギー薬 セレスタミン



### 点鼻薬

アレルギー性鼻炎治療のための点鼻薬には、アレルギー反応を抑える抗アレルギー薬（インターール、リボスチン）、炎症を抑える鼻噴霧用ステロイド薬（スカイロン）などがあります。くしゃみ、鼻水、鼻詰まりなどを主徴とするアレルギー性鼻炎の症状を改善します。

### 点眼薬

抗アレルギー薬（インターール、リボスチン、リザベン）があります。目のかゆみ、涙が出る、充血、目やになどの症状を改善します。

**花粉症はお薬のみで軽快したり、治癒することはありません。  
まずは花粉を吸い込まないように心がけることが大切です。  
快適な生活を過ごすためにも花粉対策に努めて行きましょう！！**

**次回は、2011年6月発行予定です。**

